



平成 28 年 12 月 15 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
会 社 名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代 表 者 名 代表取締役社長 岡 田 淳
(コード番号：7777)
問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行
電 話 番 号 03 (3511)3440

営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社グループは、平成 29 年 4 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）において、営業外費用及び特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の内容

当社グループは、平成 29 年 4 月期第 1 四半期連結会計期間（平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）に 125,261 千円の為替差損を計上していましたが、その後の為替相場の変動等により、平成 29 年 4 月期第 2 四半期会計期間（平成 28 年 8 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）では、為替差損は 8,585 千円増加することとなり、平成 29 年 4 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）に 133,846 千円の為替差損を営業外費用として計上いたします。

これは主に当社連結子会社が保有する外貨建て資産等の為替相場の変動により生じる評価替えによるものです。

2. 特別損失の内容

当社グループは、前期末で有形固定資産及び無形固定資産の減損を行っております。資産内容は本止血材や歯槽骨再建材等の医療製品事業に関する検査機器、特許権及び特許実施権ですが、事業遂行の過程で相互に関連することから一つの資産グループと見做し一括の減損処理を行ったものです。当期も四半期毎に減損の兆候が生じた対象資産について、当期以降の収益性を見積り、対象資産の帳簿価額と回収可能性額を比較検討し、減損処理の判定を行っております。

平成 29 年 4 月期第 1 四半期連結会計期間（平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）において新たに当該期間に資産計上した固定資産約 30,230 千円につき減損処理を行い、特別損失に計上いたしました。平成 29 年 4 月期第 2 四半期連結会計期間（平成 28 年 8 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）についても新たに当該期間に資産計上した固定資産約 20,402 千円（有形固定資産 780 千円、無形固定資産 4,463 千円、特許に関する長期前払費用等 15,158 千円）の減損処理を行い、平成 29 年 4 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）に 50,633 千円の特別損失を計上いたします。

3. 業績に与える影響

本件の通期業績に与える影響につきましては、本日公表予定の「平成 29 年 4 月期第 2 四半期決算短信[日本基準](連結)」をご覧ください。

以 上